

株主の皆さまへ

第160期 中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日



トップメッセージ

フォーカス

トピックス

業績の概況(連結)

中間財務諸表(連結・単体)

会社の概況・グループ会社の紹介



あったかを、あなたに、街に、そして未来に。

北海道ガス株式会社

証券コード9534

株主の皆さまには平素より格別のご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。ここに当社の平成17年4月1日から9月30日までの業績をお伝えする第160期中間事業報告書を送らせていただきます。今号では、これまで皆さまから寄せられたご質問などにお答えしてまいります。当社の取り組みや今後の展望についてご理解を深めていただく一助となりましたら幸いです。

取締役社長 前泉洋三

経営の基本方針について聞かせてください。

2010年ビジョン
次代のエネルギーを考え、北の生活文化を創造する、「地域のパイオニア」をめざす。

当社は、エネルギー分野を中心に、地球環境と人の暮らしがより良く共生できる、豊かで快適な都市生活の創造を目指しています。このため、地域のお客さまの生活と産業・文化に貢献できるよう「次代のエネルギーを考

え、北の生活文化を創造する、地域のパイオニアをめざす」を企業理念とし、2010年ビジョンに掲げて事業を展開しています。

具体的には、天然ガスを主とする都市ガスやLPガス、石油製品、熱供給など各種エネルギーの供給と利用システムの提供を通して、北ガスグループが一体となって安心で快適な暮らしに役立つ様々なご提案をしております。また、地域社会に密着した企業グループとして、住宅建築・設備工事、リフォーム、不動産、介護、コンピューター関連など生活関連事業の展開により、豊かな暮らしの創造に取り組んでまいります。

現在の営業施策について聞かせてください。

営業なくして事業なし、お客さまなくして企業なし

自由化が進展する現在のエネルギー市場を勝ち抜くためには、お客さま一人ひとりに喜びと感動をご提供し、北ガスグループのブランド力を高めていかなければなりません。私は就任以来「営業なくして事業なし、お客さまなくして企業なし」と言ってきました。お客さまのニーズにきめ細かくお応えするための

お客さまに選択され続ける
企業グループを目指してまいります。

営業施策である「地域深耕」を今年度も積極的に展開しているところです。また、「CS(お客さま満足度)向上」を起点とした業務改善を北ガスグループ全体で進めることにより、お客さまに選択され続ける企業グループを目指してまいります。

新商品「エコウィル」の本格販売について聞かせてください。

今年2月に京都議定書が発効されるなど、社会全体で環境に対する意識が高まりつつあります。環境に優しい天然ガス、効率の良いガス機器およびシステムを商品としている当社にとって、大きな追い風となることを確信しています。本年6月に本格販売を開始した家庭用コージェネレーションシステム「エコウィル」はマイホーム発電という斬新さや環境性、エネルギーの高効率な利用などこれまでにない新しいシステムとして注目されています。集合住宅を中心に普及を図っている省エネ型ガス床暖房・給湯システム「ファクト」と合わせて積極的な販売活動を展開しており、販売台数についても好調な滑り出しとなっています。「エコウィル」の販売により、快適な暮ら

最大限に活かしていきたい。天然ガスのメリットを

しのご提案とともに、地球温暖化の原因といわれているCO₂の削減にも貢献していきたいと考えています。

世界的に原油の需給逼迫や価格高騰が問題となっていますが、その影響はいかがですか。

天然ガスは、中東に偏ることなく世界各地で産出されており、石油と比べて埋蔵量も豊富であるため、供給面や価格面での安定性に優れたエネルギーとして高く評価されています。とくに当社の場合は、苫小牧市勇払地区で産出される北海道産の天然ガスをおもに利用していますので、国際情勢に左右されることなく、安心してお客さまにお使いいただくことができます。

昨今の原油高騰を機に、他のエネルギーをお使いのお客さまからのお問い合わせが大変増えています。とくに業務用のお客さまのなかには、すぐにも天然ガスに切り替えたいという方もいらっしゃるなど、環境面の優位性に加えて、天然ガスの供給面・価格面での安定性にも注目いただけるようになりました。今後とも、北海道内のより多くのお客さまに、天然ガスのメリットをご享受いただけますよう努力していきたいと考えています。

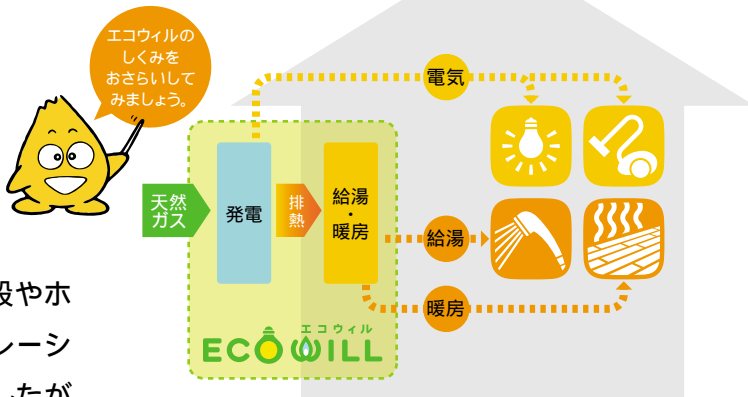
FOCUS

「ECOWILL エコウィル」販売開始

ガス・マイホーム発電という、
新たな時代の幕開けへ。

待望の家庭用ガスコージェネレーションシステム「エコウィル」の販売が、6月1日からスタートしました。

これまで北ガスでは、大規模な商業施設やホテル、病院、工場などでガスコージェネレーションシステムの採用実績を伸ばしてきましたが、「エコウィル」はその家庭用です。天然ガスで発電する際の排熱を利用して、オートバス・床暖房など最新の「快適性」と、エネルギ



エコウィルの
しくみをおさらいして
みましょう。



ー利用率85%という「省エネルギー性」を実現し、二酸化炭素排出量も大幅に削減できる「環境性」など、ご家庭でも大きなメリットが得られます。

北ガスでは、積雪寒冷地仕様として、機器制御や設置方法などの研究・開発を進めて、待望の商品化に至りました。

灯油の暖房・給湯が主流であった北海道の戸建住宅において、「エコウィル」の先進性・環境性を多くのお客さまに認めていただき、

発売初年度の目標を大きく上回る販売実績となっています。

エコウィルのCMも好評放映中です。



「見て」「触れて」「体感して」 体験型ショールームが誕生！ サガティック リニューアルオープン

6月19日にリニューアルオープンした北ガスショールーム「サガティック」。

「まるで洋服を試着するように、ガスのある快適な暮らしを気軽に・リアルに体験できる



ミストサウナ ウェイティングルーム

ショールーム」というコンセプトに基づいてさまざまな工夫がほどこされ、カタログなどでは伝えきれない

使用感や使い勝手を十分に体験できるショールームです。

館内にある「トータル提案ハウス」は、床暖房やパネルヒーターなどを設置した実際のお部屋を再現。「エコウィル」や「ファクト」など

最新のガスシステムが創り出す「快適な生活」を実感していただけます。美容と健康を促進する注目の新商品「ミストサウナ」を入浴体験できる画期的な体験ルームも誕生。



プレゼンルーム



見て、触れて、
体感して
ください。

その特徴をまさに肌で感じた後は冷たい飲み物でリラックス、



トータル提案ハウス

そんな贅沢な時間をお過ごしいただけます(ご利用には事前の予約をお願いしております)また、ガス厨房プレゼンルームでは、最新のガラストップコンロと電磁調理器で、おいしさ・使い勝手・安全性などを比較しながら調理体験ができ「ガスのおいしさが改めてよくわかった」と好評です。スタッフ陣も「お客さまへ最高のおもてなしができる内容を」と絶えず知恵を絞っています。ハード・ソフト、そして、デザイン・映像・グラフィックなどにも徹底的にこだわった新しいサガティック。最新のガス機器・ガスシステムによって暮らしがどのように変わるのか。それを実感できる情報発信基地としての役割を果たしています。

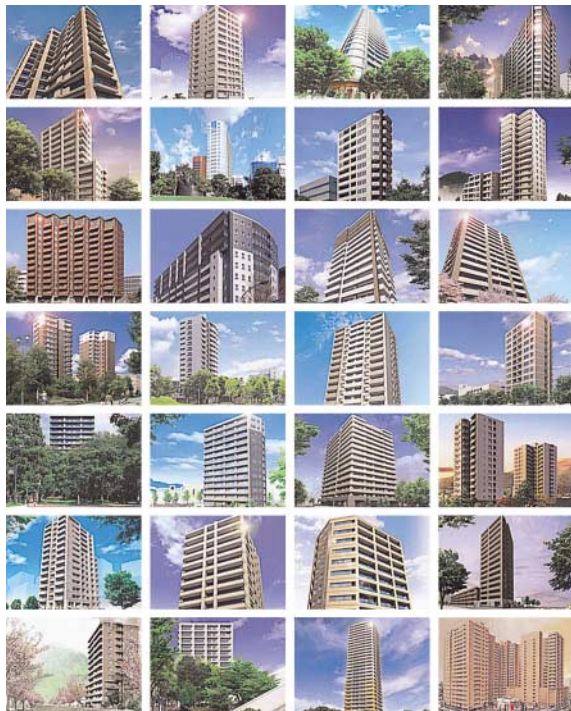
フォーカス

天然ガスのセントラル「Fact ファクト」の新築マンションが好調!

ガス暖房は高い?という従来のイメージをくつがえした省エネ型ガス床暖房・給湯システム「ファクト」。その理由は、コンデンシング(潜熱回収)方式という新技術により熱効率が大幅にアップし、さらに、「ゆ〜ぬっく24ネオ」のお得な料金メニューで、従来のガス料金に比べ、月最大45%(年間37%)も経済的になりました。

「ファクト」は快適な温水式床暖房が標準装備。湯量たっぷりのシャワーやオートバス。人気の浴室暖房乾燥機ホットドライは、今年からご家庭で気軽にホームエステが味わえるミストサウナ機能を搭載したバリエーションも登場。快適性もさらに進化しています。

環境にもやさしい天然ガスのセントラル「ファクト」は、灯油価格の高騰を背景に、順調にシェアを伸ばしています。

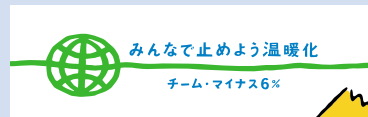


COLUMN 環境への取り組み

地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」

京都議定書の目標である「温室効果ガス排出量6%の削減」を目指し、環境省が進める地球温暖化防止運動「チーム・マイナス6%」。北ガスグループも参加し、今夏は冷房を

28 に設定、ノーネクタイ・ノー上着というクールビズの服装としました。このほか、アイドリング・ストップ、節電、節水、エコ製品購買の励行などに取り組んでいます。小さな力も



チームになれば地球規模の大きな力と
なっていくはず。



TOPICS#01

野幌森林公園の森林再生事業に参加、
1,000本を植樹

昨年9月の台風18号により大きな被害を受けた野幌森林公園。現在、林野庁北海道森林管理局が森林再生事業を

進めています。北ガスは、地域貢献および環境保護活動



の一環としてこの事業に参加し、7月9日、公園内で植樹を行いました。晴天の下、北ガスグループの従業員と家族など約130名が植えた苗木は、アカエゾマツ、ヤチダモ、エゾヤマザクラなど8種類1,000本。北ガスでは、今年度から3年間にわたり風倒被害地約2.4ヘクタールに3,600本程の植樹を行うほか、下草刈りなど樹木育成のためのボランティア活動を続けていきます。

TOPICS#03

ハウスクリーニング事業Luculux(ルクル)を拡大
グループ会社の北ガスジェネックス(株)では2002年から一般家庭を中心に行っていたハウスクリーニング事業を、4月から法人の事務所や店舗などへも展開し始めました。お客さまのご要望に応じたきめ細やかなサービスにより、きれいな空間をお届けしています。

TOPICS#02

おかげさまで、札幌地区天然ガス転換作業が完了
北ガスグループの総力を結集して約9年間にわたり取り組んできた札幌地区における天然ガス転換作業が、6月10日に完了しました。この間の転換作業の件数は、すでに完了した千歳地区も含めて約46万件、調整した器具数は833,816台にのぼります。皆さまのご協力をいただき、お客さま一軒一軒に伺って器具一台一台の作業を地道に続けた結果です。これで供給エリア全体における転換完了



函館みなと工場(2006年春竣工予定)

率は80.8%に達しました。今後は小樽地区の転換作業を今年度中に終え、函館地区を2006年中に完了する予定です。

TOPICS#04

札幌圏で7ヶ所目の天然ガススタンドがオープン
札幌圏で7ヶ所目となる天然ガススタンドが9月27日、札幌市西区にオープンしました。また、今年は原油の高騰を受けて車両用燃料も高値が続いているのを背景に、運送業界を中心にあらためて天然ガス自動車への関心が高まっており、北海道内における天然ガス自動車普及台数は8月末で1,000台を突破しました。

業績の概況(連結)

当中間期の売上高は、主に都市ガス事業、LPG事業等の増収により、前中間期に比べ0.4%増の26,592百万円となりました。一方、費用の面におきましては、継続したコスト削減に努めました結果、経常利益は同196百万円増の781百万円となりました。また、特別損失として、投資有価証券評価損および固定資産減損損失を計上いたしました結果、法人税等調整後の中間純利益は同469百万円減の86百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

都市ガス事業

ガス販売量は、家庭用については、春先の気温が低く推移したこと等により、前中間期に比べ3.0%増の45百万m³となりました。業務用については、新規大口物件の獲得等により、同4.5%増の90百万m³となり、合計で同4.0%増の136百万m³となりました。ガス売上高は、販売量の増加や原料費調整制度によるプラスの影響等により、同1.9%増の16,827百万円となりました。一方、営業費用は同0.9%減の14,952百万円となり、営業利益は同31.5%増の1,874百万円となりました。

LPG事業

売上高は、業務用の新規物件の稼働等により、前中間期に比べ9.0%増の3,382百万円となりました。一方、営業費用は、原料単価の上昇により同10.3%増の3,077百万円となり、営業利益は同2.9%減の304百万円となりました。

受注工事事業

売上高は、空調工事、融雪工事が増加し、導管工事では業務用大型物件の竣工等がありましたため、前中間期に比べ18.9%増の2,291百万円となりました。一方、営業費用は、同16.1%増の2,511百万円となりましたため、220百万円の営業損失となりました。

器具販売事業

売上高は、GHP(ガスヒートポンプエアコン)の販売台数の増加や新規大型物件獲得等がありましたが、家庭用機器の販売が伸び悩み、前中間期に比べ0.7%減の2,309百万円となりました。一方、営業費用は、同6.0%増の2,193百万円となり、営業利益は同54.7%減の116百万円となりました。

その他の事業

売上高は、店舗用設備等の販売や不動産販売等が減少し、前中間期に比べ15.4%減の3,781百万円となりました。一方、営業費用は、同14.9%減の3,683百万円となり、営業利益は同31.0%減の98百万円となりました。

各区分に属する主要な事業内容は、以下のとおりです。

都市ガス事業...都市ガスの製造・供給および販売

LPG事業.....プロパンガスの販売

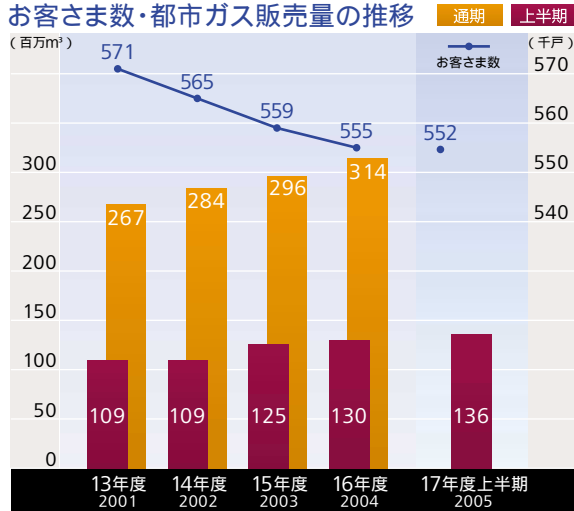
受注工事事業...ガス工事、建築工事、土木工事

器具販売事業...ガス機器の販売および貸付

その他の事業...石油製品販売、不動産販売、OA機器販売、店舗用設備の販売、天然ガス自動車および充填ガスの販売 他

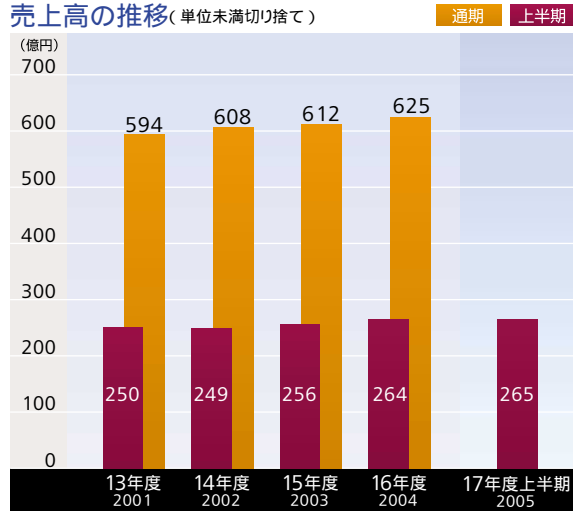
(注)セグメント別の業績数値は、セグメント間取引を含んでおります。

お客さま数・都市ガス販売量の推移

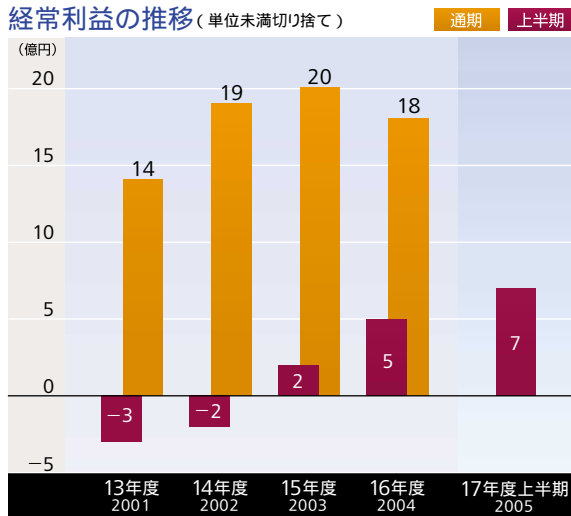


都市ガス販売量は46.04655MJ換算・単位未満切り捨て

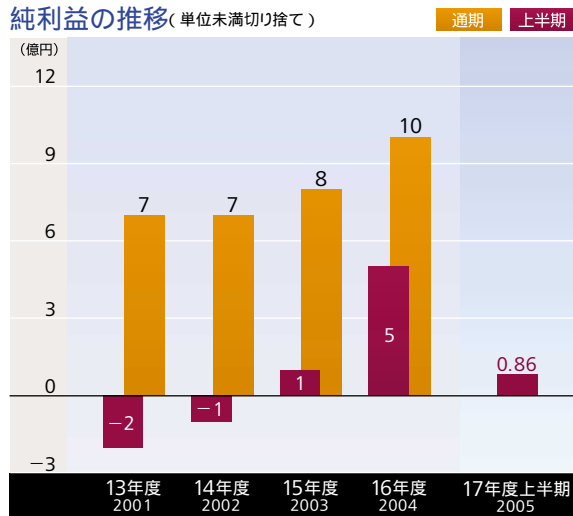
売上高の推移(単位未満切り捨て)



経常利益の推移(単位未満切り捨て)



純利益の推移(単位未満切り捨て)



17年度上半期は百万円単位まで表示

中間財務諸表(連結)

中間連結貸借対照表

資産の部	当中間期 (17.9.30)	前 期 (17.3.31)
固定資産	84,641	82,331
有形固定資産	72,204	72,321
製造設備	1,509	3,892
供給設備	48,317	49,305
業務設備	9,797	7,418
その他の設備	7,045	7,256
建設仮勘定	5,534	4,448
無形固定資産	2,033	2,113
投資その他の資産	10,403	7,896
投資有価証券	6,424	5,446
繰延税金資産	1,065	1,419
その他	3,022	1,148
貸倒引当金	△108	△118
流動資産	10,714	14,140
現金及び預金	909	1,195
受取手形及び売掛金	5,130	7,349
たな卸資産	1,342	1,309
繰延税金資産	477	370
その他	3,105	4,249
貸倒引当金	△251	△333
繰延資産	4,754	4,587
開発費	4,754	4,587
資産合計	100,110	101,059

(単位:百万円)

負債の部	当中間期 (17.9.30)	前 期 (17.3.31)
固定負債	53,756	56,391
社債	18,000	18,000
転換社債	6,802	6,802
長期借入金	25,241	28,043
再評価に係る繰延税金負債	151	152
退職給付引当金	2,597	2,536
役員退職慰労引当金	470	466
ガスホルダー修繕引当金	276	250
その他	215	141
流動負債	20,092	18,455
1年以内に期限到来の固定負債	5,827	6,095
支払手形及び買掛金	2,313	4,080
短期借入金	6,085	1,920
その他	5,865	6,359
負債合計	73,848	74,847

少数株主持分	当中間期 (17.9.30)	前 期 (17.3.31)
少数株主持分	38	36

資本の部	当中間期 (17.9.30)	前 期 (17.3.31)
資本金	3,821	3,821
資本剰余金	1,582	1,582
利益剰余金	19,451	19,740
土地再評価差額金	269	269
その他有価証券評価差額金	1,163	815
自己株式	△65	△53
資本合計	26,223	26,175
負債、少数株主持分及び資本合計	100,110	101,059

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 (174.1-179.30)	前中間期 (16.4.1-16.9.30)
売上高	26,592	26,482
売上原価	12,606	12,765
売上総利益	13,985	13,717
供給販売費及び一般管理費	12,842	12,807
供給販売費	11,414	11,402
一般管理費	1,427	1,405
営業利益	1,143	909
営業外収益	284	339
受取利息	3	1
受取配当金	21	23
賃貸料収入	87	93
熱量変更支援等収入	54	-
その他	117	220
営業外費用	646	663
支払利息	437	535
その他	208	128
経常利益	781	585
特別利益	-	475
退職給付制度改定利益	-	475
特別損失	500	-
投資有価証券評価損	305	-
固定資産減損損失	195	-
税金等調整前中間純利益	281	1,060
法人税、住民税及び事業税	143	136
法人税等調整額	49	365
少数株主利益	1	2
中間純利益	86	556

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 (174.1-179.30)	前中間期 (16.4.1-16.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,102	4,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,113	△4,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	726	△1,681
現金及び現金同等物の減少額	△285	△2,146
現金及び現金同等物の期首残高	1,195	3,264
現金及び現金同等物の中間期末残高	909	1,118

主要な連結経営指標

(単位:百万円)

	当中間期 (174.1-179.30)
売上高	26,592
経常利益	781
中間純利益	86
株主資本	26,223
総資産	100,110
1株当たり中間純利益(円)	1.40
1株当たり株主資本(円)	425.53
株主資本比率(%)	26.2

中間財務諸表(単体)

中間貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当中間期 (179.30)	前 期 (173.31)
固定資産	78,033	75,623
有形固定資産	66,674	66,734
製造設備	1,509	3,892
供給設備	48,913	49,981
業務設備	9,832	7,457
附帯事業設備	991	987
建設仮勘定	5,427	4,416
無形固定資産	1,899	1,959
ソフトウェア	1,802	1,914
その他無形固定資産	96	45
投資その他の資産	9,459	6,929
投資有価証券	3,629	3,384
繰延税金資産	357	678
その他	5,540	2,938
貸倒引当金	△ 68	△ 71
流動資産	9,436	10,878
現金及び預金	361	91
受取手形	175	236
売掛金	2,717	4,369
製品・原料及び貯蔵品	379	393
繰延税金資産	273	264
その他	5,750	5,807
貸倒引当金	△222	△283
繰延資産	4,754	4,587
開発費	4,754	4,587
資産合計	92,224	91,089

負債の部	当中間期 (179.30)	前 期 (173.31)
固定負債	51,636	53,575
社債	18,000	18,000
転換社債	6,802	6,802
長期借入金	24,341	26,419
再評価に係る繰延税金負債	151	152
退職給付引当金	1,378	1,344
役員退職慰労引当金	470	466
ガスホルダー修繕引当金	276	250
その他	215	141
流動負債	18,200	15,274
1年以内に期限到来の固定負債	5,368	5,640
買掛金	1,193	1,948
短期借入金	5,985	1,820
未払法人税等	206	216
その他	5,446	5,647
負債合計	69,836	68,850

資本の部	当中間期 (179.30)	前 期 (173.31)
資本金	3,821	3,821
資本剰余金	1,582	1,582
利益剰余金	15,622	15,809
土地再評価差額金	269	269
その他有価証券評価差額金	1,156	810
自己株式	△65	△53
資本合計	22,387	22,239
負債・資本合計	92,224	91,089

中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 (174.1-179.30)	前中間期 (16.4.1-16.9.30)
製品売上	16,827	16,510
ガス売上	16,827	16,510
売上原価	4,981	5,209
売上総利益	11,845	11,300
供給販売費	10,004	9,915
一般管理費	1,084	1,026
事業利益	757	358
営業雑収益	2,586	2,454
営業雑費用	2,513	2,254
附帯事業収益	717	614
附帯事業費用	558	420
営業利益	988	753
営業外収益	253	325
受取利息	6	1
その他	247	324
営業外費用	638	620
支払利息	290	371
社債利息	136	135
その他	212	113
經常利益	603	458
特別利益	-	475
退職給付制度改定利益	-	475
特別損失	305	-
投資有価証券評価損	305	-
税引前中間純利益	298	934
法人税等	-	-
法人税等調整額	115	435
中間純利益	183	499
前期繰越利益	1,063	842
土地再評価差額金取崩額	0	3
中間未処分利益	1,247	1,345

主要な経営指標

(単位:百万円)

	当中間期 (174.1-179.30)
売上高	20,130
經常利益	603
中間純利益	183
株主資本	22,387
総資産	92,224
1株当たり中間純利益(円)	2.97
1株当たり株主資本(円)	363.29
株主資本比率(%)	24.3

(注) 売上高の内訳は、ガス売上高、受注工事収益、器具販売収益、その他営業雑収益、附帯事業収益となっております。

会社の概況(2005年9月30日現在)

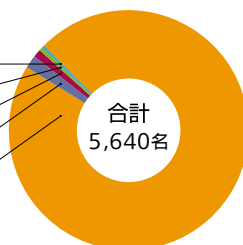
主な事業の内容

ガスの製造・供給および販売
 ガス器具の販売およびこれに関連する建設工事

株式分布状況

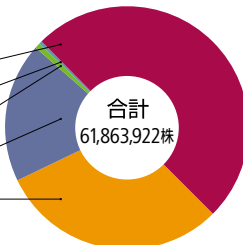
株主数構成比

証券会社 0.41%
 外国法人等 0.55%
 金融機関 1.10%
 その他法人 1.67%
 個人その他 96.27%



株式数構成比

金融機関 51.30%
 証券会社 0.34%
 外国法人等 0.77%
 その他法人 18.29%
 個人その他 29.30%



(注) 個人その他には自己名義株式を、その他法人には政府・地方公共団体および証券保管振替機構名義株式をそれぞれ含めております。

主な事業所

本社……………札幌市中央区大通西7丁目3番地1
 小樽支店……………小樽市入船4丁目33-1
 小樽工場……………小樽市塩谷4丁目155
 函館支店・函館工場……………函館市万代町8-1
 千歳支店……………千歳市清水町1丁目1-1

株式の状況

資本金 3,821,827,757円
 会社が発行する株式の総数 160,000,000株
 発行済株式の総数 61,863,922株
 株主総数 5,640名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	5,310	8.58
第一生命保険相互会社	5,000	8.08
東京瓦斯株式会社	4,274	6.90
株式会社北洋銀行	3,006	4.85
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	2,629	4.24
札幌市	2,244	3.62
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,049	3.31
北海道信用農業協同組合連合会	2,000	3.23
株式会社北海道銀行	2,000	3.23
明治安田生命保険相互会社	1,450	2.34

(注) みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数2,629千株は、株式会社みずほ銀行が委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は、株式会社みずほ銀行が留保しております。

役員

取締役会長 …… 佐々木 正丞 取締役 …… 早崎 正一
 取締役社長 …… 前泉 洋三 取締役 …… 岡崎 哲哉
 取締役副社長 …… 大槻 博 取締役 …… 伊藤 亨
 常務取締役 …… 高橋 雄介 常勤監査役 …… 井川 洋
 常務取締役 …… 濱多 悟 常勤監査役 …… 越前谷 正俊
 常務取締役 …… 花坂 耕治 監査役 …… 安達 正
 取締役 …… 小林 信介 監査役 …… 高橋 賢治
 取締役 …… 種畑 徹

(注) 1 伊藤 亨氏は、商法に定める社外取締役です。
 2 井川 洋、高橋 賢治の両氏は、商法特例法に定める社外監査役です。

グループ会社の紹介(2005年9月30日現在)



連結子会社ピックアップ

北ガスサービス

北ガスの検針・集金などを主業務として創立して以来、社名どおりお客さまに誠心誠意のサービスを提供し、今日を築いてきました。この間、生活向上に寄与するため、都市ガス警報機・ガス器具の販売、各種OA機器の販売、ソフト開発など新規事業の拡大にも取り組み、今後も地域社会に役立つ事業展開を図っていきます。

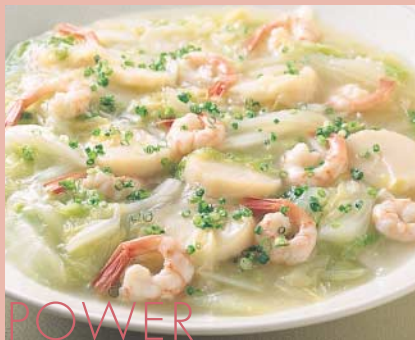


その他にも以下のグループ会社がございます。

持分法適用非連結子会社	持分法適用関連会社	持分法非適用非連結子会社
北東住設機器(株)	ケーシーセントラルスポーツ(株)	(株)エフ・シー・プラン
石狩サービス(株)	(株)北海道熱供給公社	(株)北ガス建設ホームサービス
北ガスシステムサポート(株)	(株)サッポロエネルギーサービス	(株)寿楽
(株)小樽ガス住設	(株)日石プロパン供給センター	(株)エナジーソリューション
(株)エネッセル		

コラム: ガスで快適

🔥 パワー・クッキング 🔥



白菜と魚介の煮込み 中華風

強火で炒め、そのまま煮込む中華鍋ひとつで出来る料理。ビタミンCを多く含む白菜を使い、とろみをつけることで、水溶性のビタミンCなど汁に溶けた栄養も一緒にいただけるようにしました。

- 1 白菜は5cm長さの1cm幅位に切り、長ねぎと生姜は千切りにします。
- 2 春雨は5cm長さ位に切っておきます。細ねぎは小口切りにします。
- 3 ほたては横2枚に切り、甘えびは殻をむき背わたを取ります。
- 4 中華鍋にサラダ油を熱し、白菜・長ねぎ・生姜を炒め、塩・こしょうをします。A調味料を加え、沸騰してきたら春雨とほたて・甘えびを入れます。魚介に火が通ったら水溶き片栗粉でとろみをつけます。
- 5 仕上げにごま油を入れ、細ねぎを飾ります。

材料 / 6人分

白菜	1/3 ~ 1/2株
長ねぎ	1本
生姜薄切り	6枚
ほたて	6個
甘えび	18尾
塩・こしょう	少々
A調味料	
鶏ガラスープ	カップ3杯
酒	大さじ1杯
春雨	30g
サラダ油	大さじ1杯
ごま油	大さじ1/2杯
水溶き片栗粉	適量
細ねぎ	3~4本

北ガスクッキングスクール統括主任講師:坂井美恵子

POWER
COOKING

株式についてのご案内

決算期 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月

配当金受領
株主確定日 利益配当金 毎年3月31日

名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 郵便番号 168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社
証券代行事務センター
電話 東京(03)3323-7111

各種手続き用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたは
ホームページをご利用ください。

☎0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)

【URL】http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

公 告 掲 載 紙 日本経済新聞

決算公告(貸借対照表および損益計算書)掲載のホームページアドレス
<http://www.hokkaido-gas.co.jp/ir/koukoku.html>

上 場 取 引 所 東京証券取引所・札幌証券取引所

**** 配当金のお受け取りは安全・便利な口座振込で ****

配当金振込制度のご案内

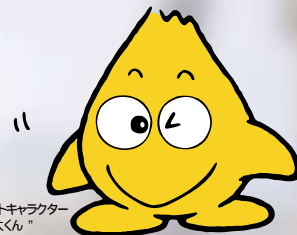
株主さまご所有の株式に対する配当金をご指定の銀行口座もしくは郵便貯金口座(通常貯金口座)へ直接入金する制度がございます。この制度で、一度配当金の振込先をご指定いただきますと、配当金のお支払いが決議されたつど、ご指定の口座へ自動的にお振り込みいたします。ご希望の株主さまは、上記事務取扱所あてに配当金振込指定書をご請求のうえ、お申し込みください。

北海道ガス
ホームページアドレス

<http://www.hokkaido-gas.co.jp/>

将来見通しに関わる記述についての注意事項

本事業報告書で記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しのみで全面的に依拠することは避けていただきますようお願いいたします。また、本事業報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関するご判断は、ご自身にてなさいますようお願いいたします。



北ガスマスコットキャラクター
“てんたくん”



あったかを、あなたに、街に、そして未来に。

北海道ガス株式会社



古紙配合率 100%再生紙を使用しています



この中間事業報告書は、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。